

● 趣 旨 説 明 ●

日本の国際戦略を考える

片 岡 貞 治

(国際戦略研究所長)

こんにちは。国際戦略研究所の片岡貞治と申します。本日はお忙しい中、総合研究機構主催の「日本の国際戦略を考える」というテーマの研究成果報告会のシンポジウムにお越しいただき、誠にありがとうございます。私はこの後の基調講演、並びに第1セッションなどで議事進行を務めますが、本日のテーマは「日本の国際戦略」を考えるということでございます。ちょうど今もお話がありましたけれども、アメリカの大統領選挙、それからアフガンの問題ですとか、北朝鮮の問題などで各種外交問題が山積みになっており、それからサブプライムローンの破綻の問題ですとか、そういった問題の前にやや埋没しつつある2つの大きな問題。と申しますのも、今年度、2008年、我が国はアフリカ問題と環境問題に関する大きなイベントを行いました。まず5月に、アフリカ開発問題にフォーカスしたTICADIVを横浜で開催し、さらにそれを踏まえ、7月の洞爺湖サミットにおいてアフリカ問題と環境問題を議論しました。本日はもちろんアメリカの大統領選挙も大事ですが、現在やや埋没しつつあるこの2つの問題に改めて焦点を合わせまして、さまざまな議論を行うことができればというふうに考えて企画したわけでございます。

そもそもこの国際戦略研究所の話を若干申し上げますと、2005年にできたのですが、この間、さまざまな、特にアフリカに関するシンポジウムや研究会、あるいは調査などを行ってきました。当研究所ねらいといえますのは、日本の国際戦略を考えていくということでした。ちなみにちょっと古い話になりますが、2003年の秋ぐらいにアメリカの投資銀行がBRICs、いわゆるブラジル、ロシア、インド、中国の長期展望を予測したところ、日本はどうもいつの日か抜かれてしまうという衝撃的な報告を行いました。具体的な数字で申し上げますと、中国のGDPが2016年に日本を抜き、2041年にはアメリカを上回ると。そして日本のGDPは2032年にはインドにも抜かれ、2050年の時点にあってはブラジル、あるいはロシアにも抜かれる可能性があるということです。もちろん、これはあくまで一つの予測に過ぎません。しかし、こうした予測があるからこそ、2008年という現在、21世紀になって大体10年ぐらい経つのですが、今こそ、徒にネガティブに考える必要はないんですけれども、こうした日本の行く末を案じつつ、将来のための日本の国際戦略、言ってみればグランドデザインといったものを真剣に考えていかなければならないと考えるわけであります。そうした観点から、この国際戦略研究所を立ち上げ、さまざまな問題について研究、あるいは議論、あるいは世界における日本の地位と役割、そしてその戦略性などを深めることを目的としてきたのです。もちろん、現時点で日本は先進国側におりまして、アメリカ、EU各国、経済大国として富める国の中にいるという図式はもちろん議論の余地のないところではございますけれども、それ故、G8なる枠組みも存在するわけであります。しかし、今後は中国とかインドといった発展途上大国というようなものが豊かな国になっていって、現在の図式が変わるかもしれない。その場合、日本は果たして先進国の地位から陥落して小さな経済大国になるのか、あるいは豊かな小国になるのか、ちょっとわからないところがあります。しかしその中で我々はその豊かさを守ることを前提として日本の選択肢を取っていくのか、それとも今後とも経済大国であるという前提のもとで小国化を食いとめ

る戦略を掲げ、経済大国としての地位を失わないような努力を行うべきなのか、あるいは中国、あるいはインドと協力して地域統合などを推進していくべきなのか。そういったさまざまな問題を中心に我々国際戦略研究所はいろんなことを考えて研究しているわけです。いずれにせよ、日本が描くべき自画像みたいなものを政策提言できるよう、日本の国際戦略の構築に資するような提言を引き続き行っていきたいというふうに考えているわけであります。

宣伝にもなりますけれども、実はその観点で、日本の国際戦略という事業を早稲田大学のエクステンションセンターの方で公開講座を毎年行っておりますので、ぜひご興味のある方はそのエクステンションセンターの公開講座の方にも登録していただければと思います。

本日のテーマは繰り返しになりますが、先ほど冒頭申し上げたように、聊か埋没しつつあるものの実際には非常に大事なアフリカ開発問題、そして環境問題を取り上げ議論を行いたいと考えます。外務事務次官の藪中三十二先生の基調講演から、日本の外交そのものをきょう皆さんとともに考えたうえでアフリカと環境の2つの問題に関する2つのパネルディスカッションを行いまして、内外からご参加いただいたさまざまな経験を持たれている第一線の研究者、それから実務家の皆さんと意見交換を行って、環境問題、アフリカ問題、日本の外交問題を議論し、考えていこうというものです。以上、簡単に趣旨説明を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。(拍手)

***司会：**

ありがとうございました。これより基調講演準備のために舞台の模様替えをさせていただきます。会場の皆様にはしばらくお待ちください。